



AEFAの2019年度が始まりました。感動と夢を求めて、私も
年中無休、年中夢求で活動してきました。

私事ですが、いよいよ真の意味で才の人生 = 後期高齢者
としての人生が始まりました。これからの人生こそが真に試さ
れる人生となるでしょう。

一つのモデルとなるよう、全力疾走 = 奔走 + 暴走 しようと
決意しています。

理事長個人として、3つのモットー(3K)を心に刻んで 奔走します。

寛容なれども 忖度せず
感動を求めて 年中無休
毅然として、自分を貫く



2004年6月15日に創業集会をやってから、もう14年半が過ぎた。昨年末で、建設数は累計286校となった。
これまでの活動実績を再評価して、次なる10年への挑戦が始まる。

素朴な事業推進に原点回帰

納得の行く学校建設と交流事業推進
気持ちの通じる仲間を増やし、社会貢献

AEFAとしての原点回帰=3つの目標

現地主体の本当に必要とされる学校建設か
地域社会を纏める力を持つ学校か
支援者の気持ちを実現出来る学校か



事業の再確認と改善目標の設定

学校建設 = 現地の教育環境改善を目指す事業活動
交流事業 = 日本の子供達の為の気付き学習を支援

学校建設の3つの受益者

子供達: 現地の子供達 + 日本の子供達
地域社会: 学校が持つ求心力 + 発展力 + 融和力の推進
事業推進者: AEFAの仲間達 + 資金支援者達 + 教師達

末筆となりましたが、本年も、どうぞよろしくお願い致します。

理事長 谷川 洋

AEFAからのお知らせ:

2019年3月2日(土)15時~16時半 九段下「かがやきプラザ」
にて、「AEFAの集い」を開催します。



活動報告のほか、みなさまとの語り合いの場となるよう、企画中です。
みなさまのご参加をお待ちしています。
(詳細決まり次第、FB/ML等でご案内を発信します)

2018年度建設校



②建設中

③建設中

①



☆校舎の他、寮や図書館も支援しました。



⑫⑬建設中



	国名	地域	学校名	ご支援者(敬称略)
1	ベトナム	トゥエンクアン省	ドンカン小学校	沖縄ワタベウェディング株式会社 株式会社プラネットワーク WATABE WEDDING VIETNAM CO., LTD 株式会社ディアーズ・ブレイン
2		バクザン省	ゴックタン小学校*	アジアの子供たちに小学校を作る会
3		ゲアン省	フォイモイ小学校*	N&V Bridge WATABE WEDDING VIETNAM CO., LTD 株式会社ディアーズ・ブレイン
4	ラオス	サラワン県	ピコ中学校	WANG基金 (藤原和博)
5			カムトン中学校	株式会社フォーサイト
6			ナボン中学校増設 及び女子寮	株式会社フォーサイト
7			ホーコンナイ中学校*	山田 浩司
8			カトウア小学校*	戸部 克信
9	チャンパサック県		マイバンマセル高校*	荒川商業高等学校同窓会 桐門会一同
10			ムーパッディ小学校	立石 博道
11			ドンライ小学校	アジアの子供たちに小学校を作る会
12	スリランカ	ケゴール州	ポーサレー小中学校*	エルセラーン1%クラブ
13			イハラ・タルドウワ小学校*	エルセラーン1%クラブ
14	ネパール	ナラヤニ県	ジャナター小学校	WANG基金 (大前研一)



④



⑤



⑥



⑦建設中



⑧建設中

⑨建設中



⑩



⑪



☆パシア村集会所



ラオス 子供が主役！の開校式

10月に行われた「クムーン小学校」開校式の主役は、日本とラオスの「子供たち」でした。開校式では支援者ファミリーのお子様为代表で式典の初めにご挨拶。ご挨拶の最後にラオスで最も有名な「イエンサイサオナー（楽しい田植えの歌）」をラオス語で歌いはじめると・・・クムーンの子供たちも声を合わせて一緒に大合唱！

すっかり打ち解け、自作の“画集”を紹介、いつか一緒に絵を描きたい・・・と「お絵描き」もプレゼント。式典のあとは、子供だけでなく村人も参加して綱引きで交流を深めました。



ラオス ラップくんと再会

ラオスのパチュドン校を訪問。19歳の青年となった「ラップくん」が待っていてくれました。小学生のとき、食べものを探しに森に入ってしまったところ、不発弾が爆発。いとこのお兄ちゃんを亡くし、自身も大怪我をしたラップくん。療養中は悪夢にうなされたりトラウマに苦しみました。担任の先生や友人らに励まされ、復学。

その後パチュドン中学校へ進学しましたが、家庭の事情で卒業することはできませんでした。「本当は、勉強を続けたかったけれど。。。と、うつむき加減につぶやくラップくん。今は、両親とまだ小さい弟妹を支えるために、農作業を頑張っているとのこと。

AEFAは、学校プロジェクトをきっかけに、地域コミュニティの教育への理解向上と協力参加、地域を支える次世代の人材育成をはかっています。

一人でも多くの生徒が学校を修了し、自身の道を切り拓いていけるよう、これからもプロジェクトに邁進してまいります。



AEFA往来 2018.7~2018.12

- 7月 ●明電舎とのコラボ事業
品川区芳水小出前授業 (7日、17日、18日)
●AEFA定例会 (27日)
- 9月 ●第42回理事会(26日)
- 10月 ●ラオス・ムンガオ小学校訪問 (10日)
●ラオス・クムーン小学校開校式 (11日)
●Readyfor クラウドファンディング実施

- 11月 ●ラオス・カムトン中開校式(20日)
●ラオス・ナボーン中開校式(21日)
●ラオス・ドンライ小開校式 (23日)
●ラオス・カナオ小開校式 (24日)
●ラオス・サティエム小開校式 (26日)

- 12月 ●ベトナム・ドンカン小学校開校式
キエンティエット小交流会 (6日)
●AEFA交流・出前授業講師団の集い (22日)

ベトナムのパートナーNGOの紹介

CSD (Research and Communication Centre for Sustainable Development)

2010年に代表のグエン・ディエム・アインさんにより設立されたベトナム発のハノイを拠点にするNGOです。設立当初は、子供達のスポーツ活動の支援などをメインに活動していました。その後2014年にAEFAの学校建設プロジェクトのパートナーとしての活動を開始して以来、現在までに20校(数える)以上の学校建設プロジェクトやベトナムと日本の学校交流活動のパートナーとして活躍しています。CSDはもともと、Centre for Sustainable Developmentの頭文字から取っていますが、最近は、「Children School Development」に変えたいと言っているほど、山岳地域の小学校の先生や地域の村人の中に入り込み、学校を核とした地域コミュニティ開発や、子供の能力開発の志のもと、着実に、楽しく活動されています。AEFAにとっては、CSDの情熱に応えるべく頑張らなくてはと思われる存在です。

CSDスタッフ紹介 ホアン・レ・トウイさん

こども達にとっても優しいステキな女性です。AEFAの建設プロジェクトのコーディネーターとして活躍されています。AEFAにとっては、とても頼りになる存在で、「Don't worry, no problem」(心配しないで、大丈夫)と言って難しい要求を次々と処理してくれます。

AEFAの支援者のお志をベトナムの子供たちに届けるために、常に前向きにプロジェクトに取り組むトウイさんの姿から、AEFAスタッフが元気を貰っています。



ハルイさんのこと

南ラオス山岳部の小さな村。竹工芸品で有名な「サボン村」出身のハルイさんは、幼くして両親を失い、おじいちゃんに育てられました。当時は山岳部までやってくる“外部の人”は、不発弾処理や医療・教育を支援するNGO関係者しかおらず、NGO団体の四輪駆動車が村の前の道を通りすぎるのを、「大人になったらいつか自分も、“車”に乗れる日がくるのかな・・・？」と思いながら、ぼんやりと眺めていたそうです。

家庭の貧困から苦学の間、20歳を過ぎて中学校を卒業。サボン村にプロジェクトでやってきたNongさん(ラオスNGO ACD代表)に出会い、山岳少数民族出身スタッフとして参加。近年は主にAEFAの学校建設事業を担当。資材調達、学校建設現場を巡回して進捗確認や村人との調整を行うなど、「車”に乗って”東奔西走の大活躍。誠実な人柄は、ACDやAEFAのスタッフはもちろん、役人、村人、プロジェクトに関わる人々から絶大な信頼を得ていました。ラオス語が通じない山奥でも、少数民族の言葉で村人とコミュニケーションをはかります。トラブルがあっても、誰のせいにもせず黙って自分の仕事に専念するハルイさんの姿に影響され、いつのまにか問題は解決。



みんな、ハルイさんのことが大好きでした。

ハルイさんは、2018/11 逝去されました。山岳部の森の中を歩きながら、「風が変わった。もうすぐ雨がくるよ」「足元気をつけて！うさぎ用のわなが仕掛けてある」・色々教えてくれたこと。川の渡渉時には、支えながら導いてくれたこと。電波のつながらない僻村からの帰り道、悪路で車がスタックすることをあらかじめ予測して、スコップをもって村人と駆けつけてくれたこと。。。。 忘れません。ハルイさん、本当にありがとうございました。(スタッフK)

私たちは各国の
パートナーNGOと
手を携えて活動しています。

ベトナム：Viet-Nam Assistance for the Handicapped (VNAH) / Saigon Children's Charity (SCC) / Research and Communication Centre for Sustainable Development (CSD)
ラオス：Association for Community Development (ACD)
タイ：Raks Thai Foundation (Care Thailand)